

第2期

豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

取組状況報告書(令和3年度分)

令和4年11月

基本目標① しごとづくり

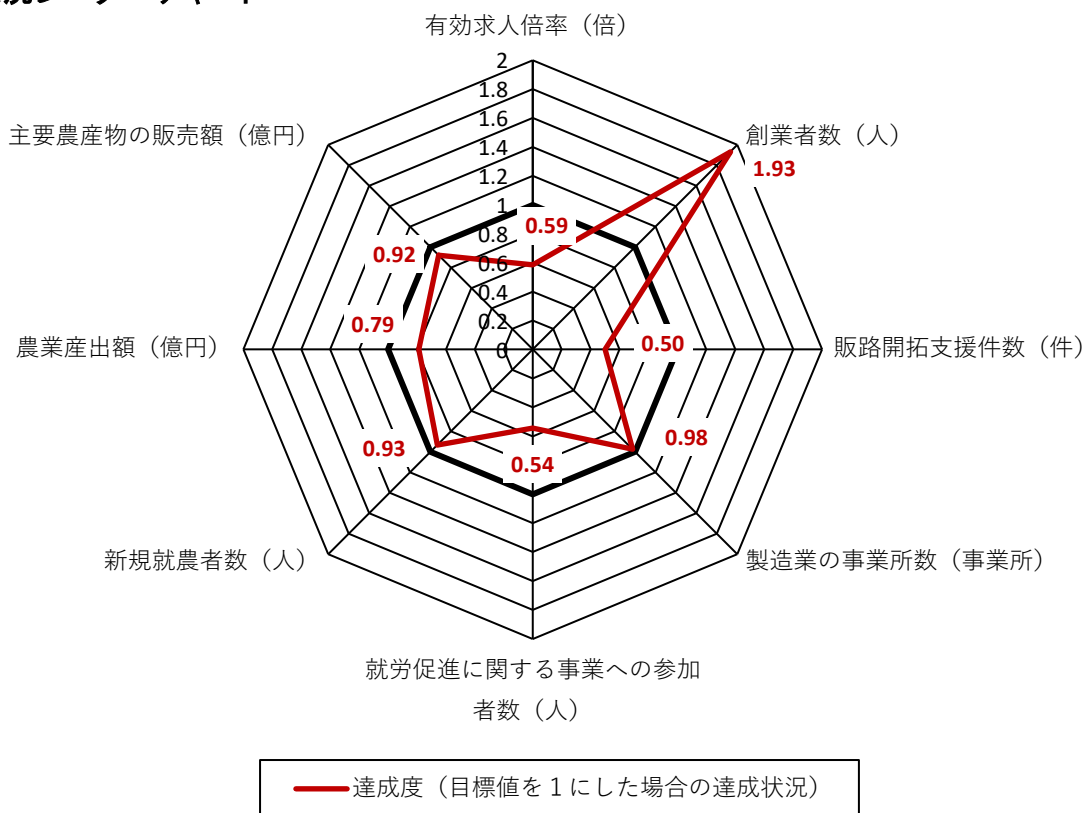
【基本的方向】

中小企業などの経営基盤強化・経営革新や創業・起業、未来技術の実装への支援、若者層の就業支援、人材育成支援、農業・商業の経営・生産性の向上など、質の高い「しごとづくり」に取り組みます。

基本目標① 主たる重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
有効求人倍率(倍)	(上段:数値)	1.33	1.08	0.69	0.79			1.35以上
	(下段:達成度)	—	B	C	C			

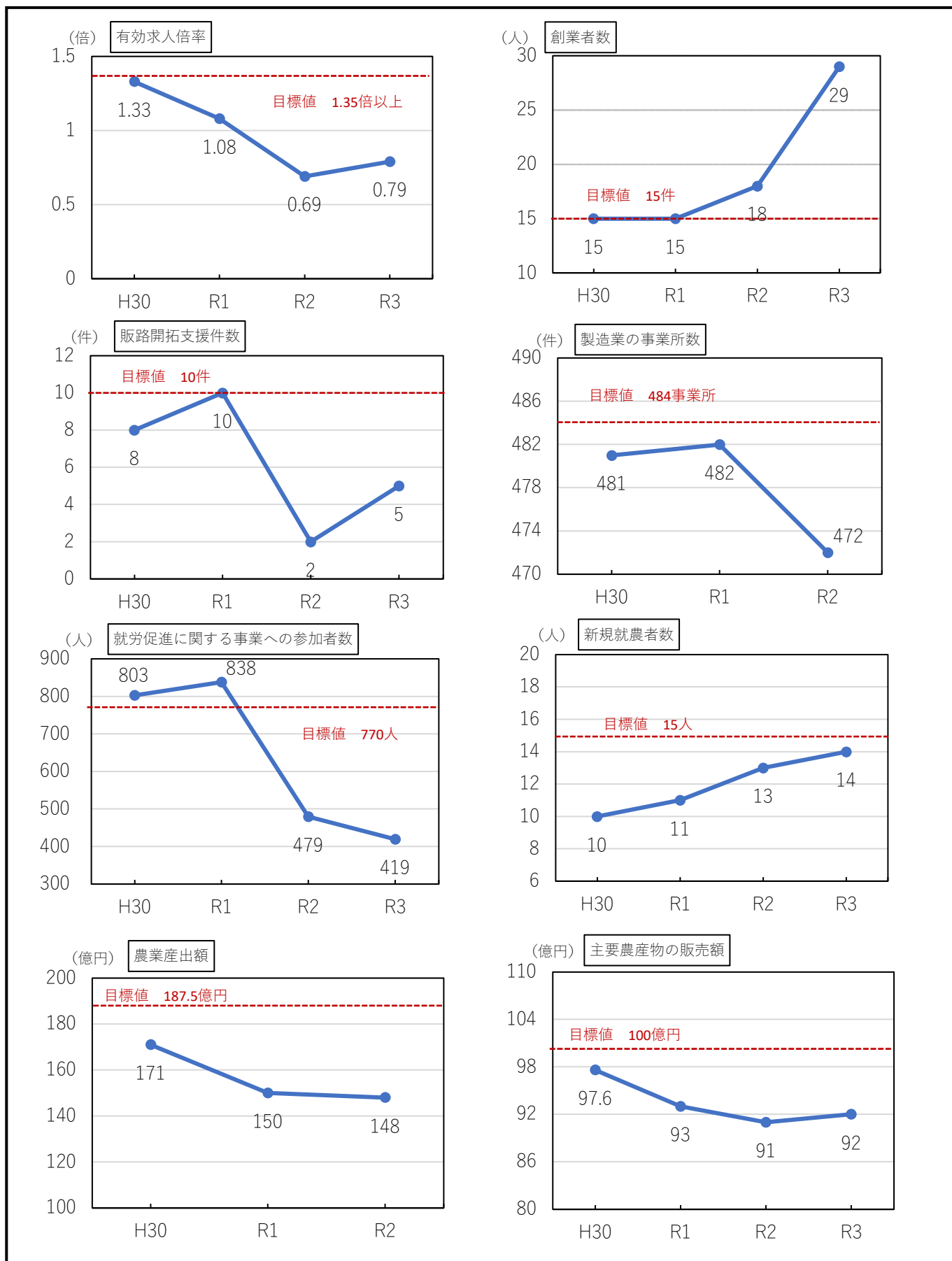
1. 達成状況レーダーチャート



2. 評価

評価基準	施策の効果を	A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・最新値が公表されていない項目を除く8つのKPIのうち、「創業者数」のみ目標値を超え、目標値達成率は、12.5%(8項目中1項目)となった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられる「有効求人倍率」や「販路開拓支援数」は前年度より持ち直した。「新規就農者数」は増加傾向にあり、しごとづくりの各種施策が効果を発揮していると評価する。 		
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのKPIが向上している点は評価できる。「創業者数」や「新規就農者数」は伸びているが、今後、継続・定着していくかについての視点があるとい。 ・「創業者数」や「新規就農者数」は着実に増えており、事業の効果が持続的に効果を上げていると評価できる。一方で、有効求人倍率が低い中で、就業を希望しながらも不本意な創業になっていないか、分析が望まれる。 		

3. 重要業績評価指標(KPI)の推移



基本目標① しごとづくり

施策(1) 創業・起業・販路開拓支援、新たなビジネスモデル構築などへの支援

- 中小企業などに対して専門家を派遣した創業、起業、経営支援相談事業などを実施し、中小企業の経営支援・経営革新、遊休不動産の活用による新たなビジネスモデルの構築支援を行います。
- 国内外における展示会やイベントへの出展にかかる費用の一部助成、各種研修や情報収集にかかる経費の補助など、販路開拓を支援します。
- Society5.0の実現に向けた技術(未来技術)を活用した中小企業の産業強化、第2創業の支援を行います。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
創業者数(人/年度)	実績値	15	15	18	29			15
	達成度	—	A	A	A			
販路開拓支援件数(件/年度)	実績値	8	10	2	5			10
	達成度	—	A	D	C			
製造業の事業所数(事業所) ^{※1}	実績値	481	—	482	472			484
	達成度	—	—	B	B			

※1 「製造業の事業所数」は、統計数値の公表時期の関係上、最新値(令和2年の公表数値)を「R3 実績」として掲載しています。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を		A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	・「創業者数」は目標を超過し、「販路開拓支援件数」は目標には至らないものの前年度から増加した。「製造業の事業所数」は前年度から10事業所減となっている。 ・各事業の活動指標等から、創業・起業への関心は増加傾向にあり、創業・起業・販路開拓や新たなビジネスモデル構築などを支える施策の効果を発揮できていると評価する。			
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	・コロナ禍を経て販路は大きく様変わりした印象がある。そのため販路開拓支援に関するニーズは高まっていると捉えており積極的に取り組む必要がある。 ・既存事業者の新事業への進出意欲が高まっていると考える。近隣市等と連携して、事業者のニーズに応える取組を進めることが望まれる。			

基本目標①－施策(1) 創業・起業・販路開拓支援、新たなビジネスモデル構築などへの支援

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

3. 主な事業

連番	1	事業名	チャレンジとよかわ活性化事業			担当課	商工観光課	
事業内容	①市内において店舗や事務所を設置する「創業」、②「とよかわ」ブランド推進による「事業拡大」、③市内の中小企業が実施する「経営革新事業」、④展示会に出展し、販路拡張や市場開拓のための経費を補助金制度で支援を実施する。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎
補助事業の交付件数(件/年度)		目標値	31	46	45	20,848千円		
		実績値	27	45				
連番	2	事業名	とよかわ創業・起業支援ネットワークを活用した創業・起業の支援			担当課	商工観光課	
事業内容	連携機関における創業および中小企業支援に関する事業の情報の共有を行い、支援を必要とする創業者に対し、情報提供および経営に関するアドバイスなど適切な支援を実施する。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎
創業支援相談件数(件/年度)		目標値	262	262	364	3,272千円		
		実績値	371	465				
連番	3	事業名	遊休不動産などの活用による創業支援			担当課	都市計画課	
事業内容	中心市街地の空き店舗などの紹介や、リノベーションに関する情報提供などを実施し、中心市街地の活性化の機運を高めるとともに、空き店舗の減少を図る。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
空き家見学ツアー開催数(回/年度)		目標値	2	2	2	225千円		
		実績値	1	2				
連番	4	事業名	未来技術の社会実装を通じた地域産業の強化			担当課	企画政策課	
事業内容	令和2年8月、官民連携により設立した東三河ドローン・リバー構想推進協議会において、ドローンやエアモビリティなどの未来技術の社会実装を通じ、先進企業と地元企業との協働により、実証実験や製品開発、啓発・販路拡大などを実施し、新産業の集積や地域産業の強化を図る。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎
中小企業との開発・技術連携を伴う実証実験(回/年度)		目標値	2	2	3	4,777千円		
		実績値	7	9				

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 ただし、社会経済の状況と事業者のニーズは変化するため、それを的確に捉えながら、当施策を推進する。

基本目標① しごとづくり

施策(2) 就労促進、人材育成支援

- 市内の製造業を支えるものづくり人材やグローバルに活躍できる人材を確保・育成するため、中小企業向けの講座を開催する職業能力開発専門学院への助成や、市内企業の熟練技能者による市内高等学校における実技指導を行うなど、人材育成への支援を行います。
- 市内での就業促進に向け、若年層および首都圏からの転入者などへの就労支援を行います。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
製造業の事業所数(事業所)※1	実績値	481	—	482	472			484
	達成度	—	—	B	B			
就労促進に関する事業への参加者数(人)	実績値	803	839	479	419			770
	達成度	—	A	C	C			

※1 「製造業の事業所数」は、統計数値の公表時期の関係上、最新値(令和2年の公表数値)を「R3 実績」として掲載しています。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を			
	A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	・「就労促進に関する事業への参加者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少している。 ・各事業の活動指標について、若年者の就労支援に関するセミナー参加者が目標を上回っていることから、就労促進、人材育成に向けた施策を支えることができていると評価する。 ・首都圏人材確保支援事業は、県下市町で足並みを揃えた県共同事業であり、対象要件の拡充等が段階的に行われているが、実績につなげない。	
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	・コロナ禍で人を集めることが難しい中、個々の事業は参加者数を確保しており、一定の評価ができる。 ・「製造業の事業所数」の減少に関して、事業所の後継者問題への何らかの対応策が望まれる。 ・就労支援に関するセミナーの参加者は目標値を大幅に上回っているが、若年層だけでなく幅広い世代への支援が望まれる。	

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

3. 主な事業

連番	5	事業名	職業能力開発専門学院支援事業			担当課	商工観光課	
事業内容	豊川職業能力開発専門学院が、中小企業の従業員等に専門的知識、技能を習得させ、その質的、社会的地位の向上を図り、産業の振興発展に寄与するために行う事業に要する経費に対し補助金制度で支援を実施する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△	
専門学院の受講者数(人/年度)		目標値 700	450	450	840千円			
		実績値 416	363					
連番	6	事業名	地域技能者活用事業			担当課	商工観光課	
事業内容	高校生に実践的な技術・知識を伝え、ものづくり産業を担う人材を育成するため、地域の優れた熟練技能者を豊川工科高等学校へ派遣し、技能検定3級(普通旋盤作業、電子機器組立、手溶接)の資格取得を支援するとともに、就職に対する心構えや、仕事に取り組む姿勢などについて指導を行う。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
資格取得者数(件/年度)		目標値 10	10	10	796千円			
		実績値 2	4					
連番	7	事業名	若年者の就労支援			担当課	商工観光課	
事業内容	就職に悩みを持つ15歳から49歳未満の若年者本人および家族に対して、自己の適正や就業経験などに応じた職業選択、就職に関する知識や能力の向上並びにアドバイスを実施する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎	
セミナーなどへの参加者数(人/年度)		目標値 40	30	30	509千円			
		実績値 59	43					
連番	8	事業名	首都圏人材確保支援事業			担当課	商工観光課	
事業内容	東京圏から豊川市に移住し、愛知県マッチングサイトに掲載する移住支援金の対象法人に就業した方や起業した方等に、移住支援金を支給する制度を実施する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	×	
首都圏人材確保支援事業費補助件数(件/年度)		目標値 3	3	3	0千円			
		実績値 0	0					

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し		
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 ただし、事業所の後継者問題など構造的な課題や、幅広い年齢層への就労支援のあり方といった課題を捉えながら、当施策を推進する。		

基本目標① しごとづくり

施策(3) 農業・商業の活性化と経営・生産性向上の支援

- 農業の担い手を確保するため、就農塾の開講、農業機械のリースや導入補助などにより、新規就農者の発掘や農業経営者の育成を支援します。
- 豊川産農産物のブランド化や販路開拓、地産地消、食育およびスマート農業の推進、農業経営収入保険加入を支援するなど、農業経営を支援します。
- 農地の利用集積や耕作放棄地の解消、有害鳥獣による農産物への被害低減のための対策事業など、農業の生産性向上に向けた支援を行います。
- 経済団体と連携し、既存商業者への経営支援や事業活動などへの支援を行います。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
新規就農者数(人/年度)	実績値	10	11	13	14			15
	達成度	—	C	B	B			
農業産出額(億円)※1	実績値	171	—	150	148			187.5
	達成度	—	—	B	C			
主要農産物の販売額(億円)※2	実績値	97.6	93	91	92			100
	達成度	—	B	B	B			

※1 「農業産出額」は、統計数値の公表時期の関係上、最新値(令和2年の公表数値)を「R3 実績」として掲載しています。

※2 主要農産物とは、大葉、トマト、菊、バラ、イチゴの5品目です。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を	A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析 (コメント)	<p>・「新規就農者」は着実に増加しているものの、「農業産出額」は前年度より減少した。「主要農産物」の販売額は目標とは開きがあるものの前年度より微増となった。</p> <p>・各事業の活動指標は、新型コロナウイルス感染症等の影響により目標には至っていない事業もあるが、豊川産農産物のブランド化や食育推進等について、関係機関との協力・連携により改善が図られてることから、農業の活性化と経営・生産性向上を支援する施策の効果を発揮できていると評価する。</p>		
外部評価	B	外部評価検証 (コメント)	<p>・農業に対する逆風の中で個々の事業の達成度は低い。しかし、KPIを見ると、「新規就農者数」が増加し、また「農業産出額」や「主要農産物の販売額」では、コロナ禍が継続中にもかかわらず下げ止まりを見せていることから一定の評価ができる。</p> <p>・イオンモール豊川の誘致など、雇用に大きな影響のある施策を推進していることは評価できるが、商業の活性化に向けた取組の充実が望まれる。</p>		

基本目標①－施策(3) 農業・商業の活性化と経営・生産性向上の支援

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

3. 主な事業

連番	9	事業名	ひまわり農業協同組合との連携による就農者および生産性向上への支援			担当課	農務課	
事業内容	ひまわり農協と豊川市が協働して運営する豊川市農業担い手総合支援協議会が中心となり後継者支援を図る。今後の農業を担う人材の育成を目的とした「就農塾」では、実践的なプログラムを用意することで修了者が販売農家として自立できるよう実施する。また、就農塾受講者を対象とした支援(農業機械リース事業費補助、農業機械導入事業費補助、農業次世代人材投資資金等)を行う。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△
就農塾受講者数(人/年度)		目標値	10	10	10	3,028千円		
		実績値	2	4				
連番	10	事業名	有害鳥獣の捕獲と防除体制への支援			担当課	農務課	
事業内容	狩猟連合豊川、豊川市鳥獣被害防止対策協議会および地元駆除組織と連携して捕獲強化に努める。事業内容としては、捕獲檻、大型捕獲檻の移設、地元住民との連携による侵入防止柵の設置、修繕および地元駆除組織への捕獲実績に応じた報償金の交付など捕獲と防除体制の支援を図る。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△
農作物被害額(千円/年)		目標値	9,226	9,226	9,226	18,619千円		
		実績値	12,930	15,429				
連番	11	事業名	耕作放棄地解消への支援			担当課	農務課	
事業内容	耕作放棄地の借り入れを希望する耕作者に対して、その復旧にかかる経費の一部を助成し、営農開始に向けた初期投資の軽減および耕作放棄地の解消を図る。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△
解消面積(m ² /年度)		目標値	14,000	18,000	18,000	680千円		
		実績値	17,327	10,550				
連番	12	事業名	豊川産農産物のブランド化・販路開拓への支援			担当課	農務課	
事業内容	豊川産農産物のブランド化を図り、付加価値を高めるため豊川産農産物のPRを図るとともに、販路開拓の取組に対して支援を行う。 主要農産物:大葉、トマト・ミニトマト、スプレー菊、バラ、いちご							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
新規開発加工品数(品/年度)		目標値	1	1	1	954千円		
		実績値	1	1				
連番	13	事業名	地産地消、食育推進への支援			担当課	農務課	
事業内容	豊川ブランドとなる地元食材を活用し、地産地消の推進に向けた農業体験、調理教室の開催やイベント開催における啓発を行う。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
農業体験・調理教室等参加人数(人/年度)		目標値	50	50	50	64千円		
		実績値	19	55				
連番	14	事業名	既存事業者への多様な産業活性化に向けた支援			担当課	商工観光課	
事業内容	豊川商工会議所が実施するアンテナショップや観光ブースなどの複合的な機能を有するテナントの設置に要する経費や、事業者などが計画的に実施する事業拡大などに要する経費について補助を行うとともに、地域経済循環セミナーを開催する。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	—
地域商業強化推進事業補助事業者数(件/年度)		目標値	—	—	10	—		
		実績値	—	—				

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し		
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 ただし、商業の活性化を支える取組を充実、または各事業と連携させながら、当施策を推進する。		

基本目標② ひとの流れづくり

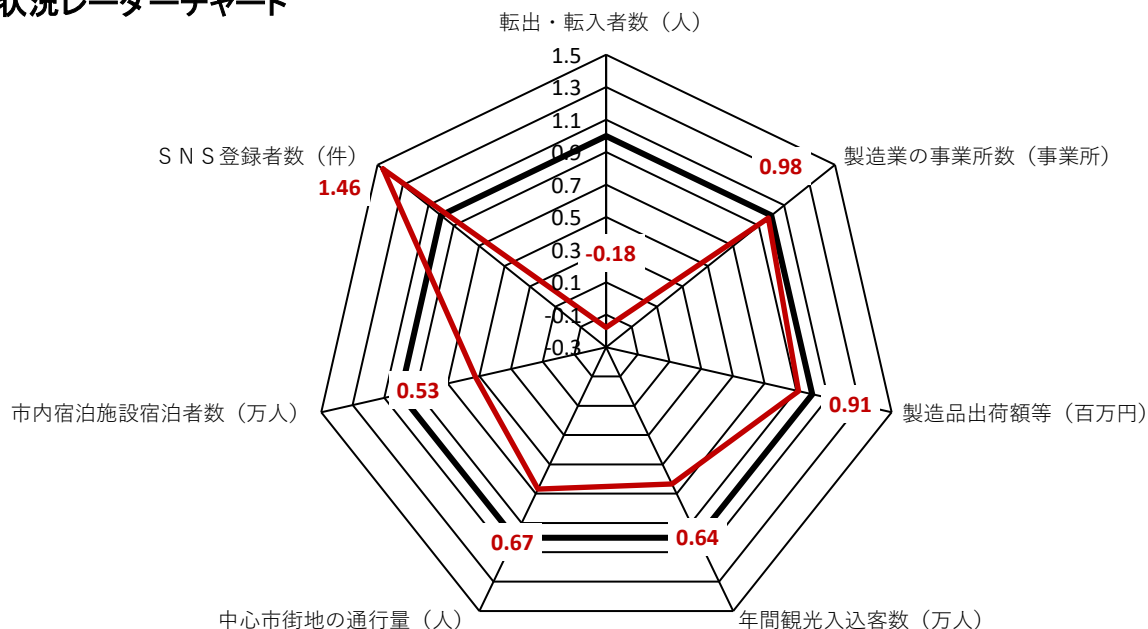
【基本的方向】

製造業を軸とした魅力ある企業の集積を図りつつ、既存企業の機能強化を図ります。
また、魅力ある地域資源を国内外に積極的に発信するとともに、テレワーク関連施策などを通じて、本市へ「ひと」を呼び込む流れをつくります。

基本目標② 主たる重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
転出・転入者数(人)	実績値①(出生・転入－死亡・転出)	+445	+550	+204	-89			+500
	達成度	—	A	D	D			
	実績値②(転入－転出)	+718	+1,021	+559	+404			—

1. 達成状況レーダーチャート

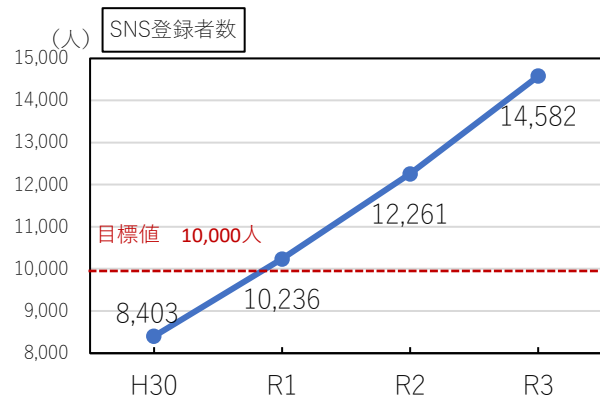
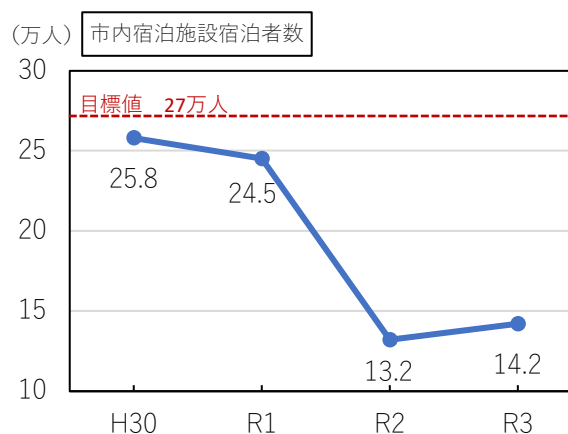
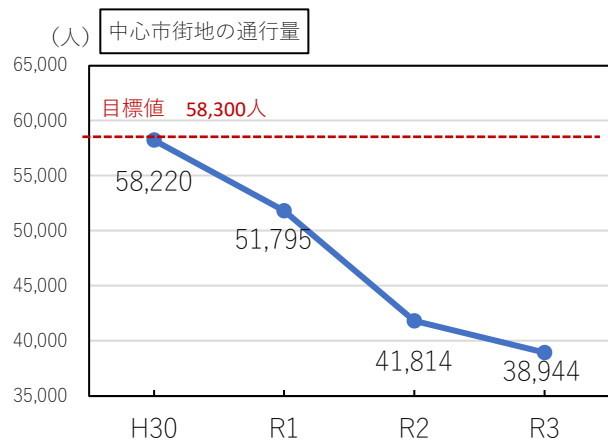
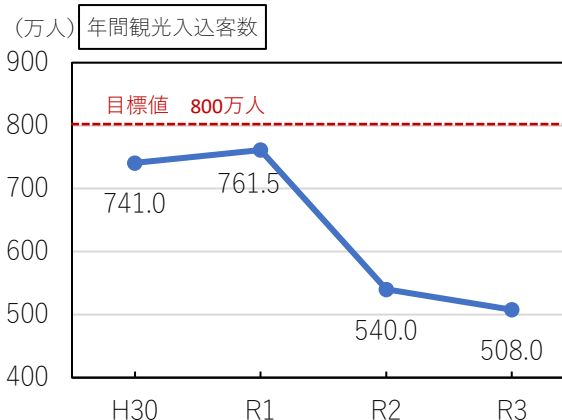
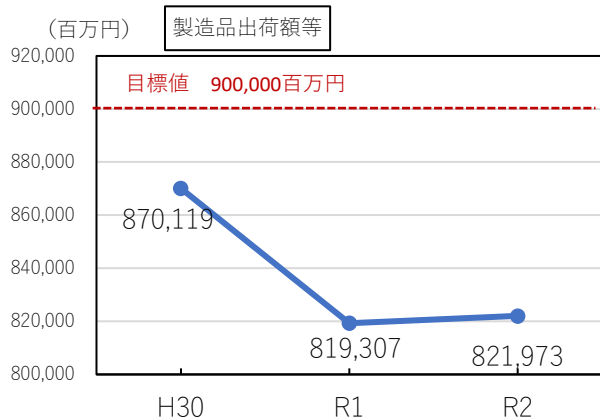
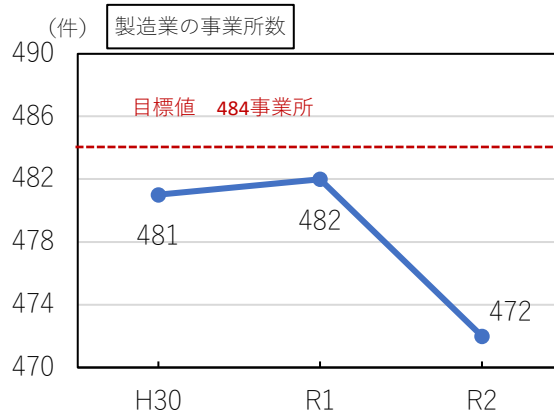
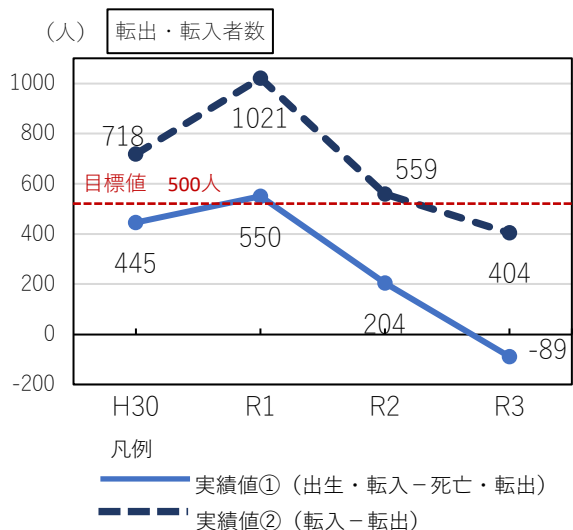


— 達成度 (目標値を1にした場合の達成状況)

2. 評価

評価基準	施策の効果	A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	C	内部評価分析 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIのうち、「SNS登録者数」のみ目標値を超え、目標値達成率は14.3%(7項目中1項目)となった。 ・ひとの流れづくりのために各種施策を展開しているが、新型コロナウイルス感染症により大きく影響を受け、「年間観光入込客数」や「中心市街地の通行量」の指標は前年度に引き続き目標との乖離がある。 		
外部評価	C	外部評価検証 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラム等の配信でSNS登録者数が増えている。配信の内容が工夫されている結果であり高く評価する。 ・基本目標②ひとの流れづくりは、新型コロナウイルス感染症による影響を最も受けているが、コロナ禍が終わればひとの流れが回復することが予想されるため、施策を継続すべきである。 		

3. 重要業績評価指標(KPI)の推移



基本目標② ひとの流れづくり

施策(1) 企業立地・産業集積の推進

- 東名高速道路や国道1号、国道23号、国道151号などの道路ネットワークを生かした産業集積を図るため、新たに進出する企業の誘致に向けた支援を行います。
- 地域の経済、雇用を支える既存企業の市内における再投資などを支援します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
製造業の事業所数(事業所)※1	実績値	481	—	482	472			484
	達成度	—	—	B	B			
製造品出荷額等(百万円)※2	実績値	870,119	—	819,307	821,973			900,000
	達成度	—	—	B	B			

※1.※2「製造業の事業所数」、「製造品出荷額等」は、統計数値の公表時期の関係上、最新値(令和2年の公表数値)を「R3 実績」として掲載しています。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない			
内部評価	B	内部評価分析 (コメント)	<p>・「製造業の事業所数」は前年度から10事業所減となっている一方で、「製造品出荷額等」は前年度から2,666百万円増加している。</p> <p>・「企業等への訪問件数」は目標に達していないものの、その他の活動指標はおおむね目標を達成し、前年度は実施できなかった「トップセール」を実施した。</p> <p>・御津1区第2期分譲用地に特化した独自の補助制度の活用により、県外からの誘致に結び付いた企業もあったことから、企業立地・産業集積に向けた施策の効果を発揮できていると評価する。</p>	
外部評価	B	外部評価検証 (コメント)	<p>・内陸の工業団地には企業が順調に進出しているが、臨海部の工業団地は、東日本大震災や高潮被害の影響もあり、今後も厳しい状況は続くと考えられるため、名豊バイパスや東三河環状線など道路網の整備・進捗に併せて、内陸の工業団地の整備について進めていくべきである。</p> <p>・「企業立地支援策の啓発」について、唯一目標に届かず活動指標の達成率が悪い。オンラインであれば市外や県外へ出向く必要はなく効率的であるため、積極的に活用すべきである。</p>	

3. 主な事業

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎：非常に効果的であった(目標値を上回った)、○：相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7～8割達成)、△：効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×：効果がなかった、効果が得られなかった、—：未着手・未実施

連番	15	事業名	新規工業用地の開発			担当課	企業立地推進課		
事業内容	新たな内陸工業用地の計画的な開発を行うため、開発予定地区である白鳥地区の調査および関係機関などとの調整を行う。また、白鳥地区に次ぐ内陸工業用地(次期工業用地)の候補地選定に向けた調査を実施する。								
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○		
次期工業適地検討・評価	目標値	2	2	1	31,821千円				
	実績値	2	2						
連番	16	事業名	企業立地支援策の啓発			担当課	企業立地推進課		
事業内容	企業立地情報交換会の開催や、全国規模の産業展へ出展して企業誘致を行う。また、企業訪問などにより支援策の啓発を行う。								
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○		
企業等への訪問件数(件/年度)	目標値	60	60	60	3,483千円				
	実績値	18	27						
連番	17	事業名	進出企業への企業立地奨励金、雇用促進奨励金、工場などの新増設に対する企業再投資促進補助金の支給			担当課	企業立地推進課		
事業内容	市内の指定地域において、新たに取得した土地などに自らが操業するために工場などを新増設する企業に対し、工場などの工事着工前に交付対象事業者として認定し、操業開始後、課税された当該土地・建物の固定資産税の納付の翌年度から3年間その納付額を奨励金として交付し、豊川市民の新たな雇用についても、一定期間の雇用を継続した場合に奨励金を支給する。また、20年以上市内に立地する企業が工場などの新増設を行う場合に補助金を支給する。								
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○		
交付対象事業者の認定件数(件/年度)	目標値	1	1	1	18,233千円				
	実績値	4	1						
連番	18	事業名	御津1区第2期分譲用地取得事業補助金などの支給			担当課	企業立地推進課		
事業内容	愛知県企業庁から御津1区第2期分譲用地を取得し、取得後3年以内に自らが操業するために工場などを新設する企業に、用地取得への補助や建物の固定資産税などに相当する額を交付する。								
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○		
交付対象事業者の認定件数(件/年度)	目標値	1	1	1	32,783千円				
	実績値	2	1						
連番	19	事業名	トップセールスによる企業誘致			担当課	企業立地推進課		
事業内容	多くの企業が集まる愛知県主催の産業立地セミナーや、豊川市企業立地情報交換会等に参加し、市の魅力を発信するとともに企業誘致に繋げるための市長プレゼンを実施する。								
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○		
市長自らによる企業誘致トップセールス(回/年度)	目標値	2	2	2	0千円				
	実績値	0	2						

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し		
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 ただし、企業立地支援策の啓発活動では、オンラインを始めICT活用など新たな手法を検討・活用しながら、当施策を推進する。		

基本目標② ひとの流れづくり

施策(2) 地域資源の活用推進

- 豊川稲荷、御油のマツ並木や赤塚山公園、豊川いなり寿司をはじめとする歴史・文化、自然環境、特産品など本市独自の地域資源の活用により、来訪者の増加を図る施策を推進します。
- 民間団体と連携し、スポーツをはじめとした本市のにぎわい創出に向けたイベントの開催などを支援します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
年間観光入込客数(万人)	実績値	741	761.5	540	508			800
	達成度	—	B	C	C			
中心市街地の通行量(人)	実績値	58,220	51,795	41,814	38,944			58,300
	達成度	—	B	C	C			
市内宿泊施設宿泊者数(万人)	実績値	25.8	24.5	13.2	14.2			27.0
	達成度	—	B	D	C			

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない				
内部評価	C	内部評価分析(コメント)	・新型コロナウイルス感染症の影響により「年間観光入込客数」と「中心市街地の通行量」は前年度から減少したが、「市内宿泊施設宿泊者数」は前年度より回復している。 ・各事業の活動指標について、スポーツ合宿への支援による宿泊者数は前年度より増加したが、一般市民参加型のイベントや事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な成果が出せていないことから、地域資源の活用を推進する施策の効果をあまり発揮できていないと評価する。		
外部評価	C	外部評価検証(コメント)	・市内の事業者では、一度に人を集める動きから集客を分散する傾向が見受けられる。このような流れを見ながら何らかの新たな施策が必要と考える。 ・赤塚山公園は、高速道路に面した環境等、ポテンシャルのある公園である。単に老朽化したものを新しくするのではなく、未来的でかつ観光客を呼び込めるような公園を目指して計画していくべきと考える。		

3. 主な事業

【事業効果自己評価の基準】活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

連番	20	事業名	とよかわブランドの磨き上げ	担当課	商工観光課・農務課		
事業内容	「豊川いなり寿司」に続く新たなとよかわブランドとして売り出していくための品目、歴史・文化資源などの選定と、それらを広めていくためのPRを展開していく。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
とよかわブランドを活用したプロモーション実施回数(回/年度)	目標値	6	4	4	5,951千円		
	実績値	4	5				
連番	21	事業名	赤塚山公園の賑わい創出に向けた再整備	担当課	公園緑地課		
事業内容	平成5年に開園し老朽化している赤塚山公園について、安全・快適にイベントを開催できるようにするなど、利用者にとって公園の魅力を上向きさせるため、施設の改修計画を策定し、改修を行う。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
ぎょぎょランド来園者数(万人/年度)	目標値	40	40	40	94,026千円		
	実績値	25.8	39.5				
連番	22	事業名	スポーツイベントの活性化	担当課	スポーツ課・農務課・商工観光課		
事業内容	リレーマラソンなどへのゲストランナー招致など、参加者および観客数の多いスポーツイベントの開催に際し支援する。リレーマラソンなどのスポーツイベントにおいて、来場者へのおもてなしとして、観光PRと共に豊川いなり寿司教室を実施し、握り体験をしてもらう。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	—
リレーマラソン・シティマラソン参加者数(人/年度)	目標値	6,000	6,000	6,000	2,582千円		
	実績値	—	—				
連番	23	事業名	トップアスリートふれあい交流事業	担当課	スポーツ課		
事業内容	小・中・高校生を直接指導するトップアスリートを招へいする。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△
教室参加者数(人/年度)	目標値	200	200	200	110千円		
	実績値	45	41				
連番	24	事業名	スポーツ合宿への支援	担当課	スポーツ課・商工観光課		
事業内容	スポーツ合宿の誘致による交流人口の増加を図るため、スポーツ合宿の受入れ環境などの情報発信や申し込みの効率化を図るとともに、合宿での宿泊費用を一部助成する。また、商談会を活用したプロモーション、合宿を行う団体や旅行会社へのPRを行い、スポーツ合宿の誘致を推進する。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
合宿宿泊者数(人/年度)	目標値	1,000	1,000	1,000	3,168千円		
	実績値	186	768				
連番	25	事業名	中心市街地活性化事業	担当課	都市計画課		
事業内容	中心市街地の活性化を図ることを目的に実施するイベントなどに対し、経費の支援や人的支援を行う。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△
中心市街地の通行量(人/2日)	目標値	59,550	53,300	54,950	225千円		
	実績値	41,814	38,944				
連番	26	事業名	豊川公園の多機能化への再整備	担当課	公園緑地課・スポーツ課		
事業内容	中心市街地に位置する豊川公園を活用して、地方創生を充実させ、より推進していくものとして賑わいを創出するため、再整備により利用者のスポーツや、健康づくり、イベント、サービス、駐車機能などを充実させ、総合体育館、陸上競技場、野球場、テニスコートなどの既存施設のより一層の活用を図る。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
運動施設利用者数(人/年度)	目標値	420,500	424,000	427,500	115,548千円		
	実績値	225,924	343,735				
連番	27	事業名	文化活動を通じた環境整備	担当課	文化振興課		
事業内容	茶室「心々庵」をリニューアルすることで利便性を高め、茶道文化に親しむ機会を創出し、時代に即した伝統文化の振興を図るため、立礼席(バリアフリー化)及び水屋等の新設工事並びに既存建物の劣化箇所の修繕工事を実施する。あわせて、郷土史に関する展覧会をはじめ、郷土作家の作品や現代美術、地域間交流をテーマとした展覧会を開催する。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
茶室「心々庵」の改修	目標値	基本設計	実施設計	改修整備工事	27,332千円		
	実績値	基本設計	実施設計				

連番	28	事業名	歴史遺産の利活用			担当課	生涯学習課・商工観光課	
事業内容	本市の歴史を象徴する地域資源として整備した施設の活用を推進するために、ボランティアによるガイド活動や文化財を生かした学習活動・情報発信などの各種事業を行う。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○
三河天平の里資料館・平和公園・大橋屋の来園者・来館者数(人/年)		目標値	51,000	40,000	40,000	8,637千円		
		実績値	40,572	33,881				

4. 今後の方向性

今後の方針	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	<p>施策の効果をあまり発揮できていないと評価し、改善とする。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の影響は大きいですが、赤塚山公園を始めとするポテンシャルのある施設などを有効に活用するとともに、豊川稲荷で開催し好評を得ているヨルモウデなど、コロナ禍でも工夫により成果を挙げている事例を参考にし、工夫や改善を行いながら、当施策を推進する。</p>

基本目標② ひとの流れづくり

施策(3) シティセールス・観光の振興を核とした移住・交流等人口の拡大の推進

- 国内外への情報発信など、シティセールスを強化し、外国人をはじめ、市域内における交流の促進を図るとともに、関係人口の創出・拡大を図ります。
- 観光名所などにおける周遊促進を図るため、観光ルートの整備やおもてなし人材による魅力発信などの観光振興を推進します。
- 豊川版ローカルツーリズム、着地型観光などの新たな観光ニーズへの対応強化を図ります。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
年間観光入込客数(万人)	実績値	741	761.5	540	508			800
	達成度	—	B	C	C			
市内宿泊施設宿泊者数(万人)	実績値	25.8	24.5	13.2	14.2			27.0
	達成度	—	B	D	C			
SNS登録者数(件)	実績値	8,403	10,236	12,261	14,582			10,000
	達成度	—	A	A	A			

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を		A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により「年間観光入込客数」は前年度から減少したが、「市内宿泊施設宿泊者数」は前年度より回復した。</p> <p>・「SNS登録者数」は順調に増加し、シティセールスのための情報発信機会の創出につながっている。</p> <p>・各事業について、おおむね活動はできており、中でも新型コロナウイルス感染症拡大を受けた経済対策の一環として、返礼品を「寄附型」から「購入型」に切り替えたふるさと納税は、返礼品の拡充と寄附額の増加につながり、関係人口創出に寄与したことから、移住・交流等人口の拡大に向けた施策の効果を発揮できていると評価する。</p>			
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・ふるさと納税は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って返礼品を「購入型」に切り替えたことにより、地場産品の掘り起こしにつながっただけでなく、豊川を広く知ってもらう機会にもなったと捉える。</p> <p>・「SNS登録者数」については、登録者が豊川を訪れるきっかけとなるような施策も期待する。</p> <p>・大きなイベントが実施できない今、少人数を対応いただけるガイドを育成する取組が必要である。</p> <p>・観光ボランティアガイドを養成する講座の実施を望む。</p>			

基本目標②－施策(3) シティセールス・観光の振興を核とした移住・交流等人口の拡大の推進

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎：非常に効果的であった(目標値を上回った)、○：相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7～8割達成)、△：効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×：効果がなかった、効果が得られなかった、—：未着手・未実施

3. 主な事業

連番	29	事業名	インバウンド対策事業	担当課	商工観光課		
事業内容	近年の訪日外国人観光客の急増、国および県における観光施策に基づき、これまで豊川商工会議所が実施してきた「豊川インバウンド促進事業」の成果と浮かび上がってきた問題点などを踏まえ、観光協会と連携して外国人観光客の誘客による地域の活性化を促す取組を支援する。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△
外国人宿泊者数(人/年度)	目標値	26,000	26,000	—	1,000千円		
	実績値	2,706	187				
連番	30	事業名	都市圏プロモーション事業	担当課	商工観光課		
事業内容	とよかわブランドとして認定されたとよかわ手筒花火、豊川稲荷、とよかわバラなどの観光資源を活用し効果的にプロモーションを行う事業に対して補助することで、都市圏のイベントスペースにて観光・シティセールス活動などを展開し、来訪者の増加を図る。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
とよかわブランドを活用したプロモーション実施回数(回/年度)	目標値	6	4	4	47,804千円		
	実績値	4	5				
連番	31	事業名	観光ルート整備事業	担当課	商工観光課		
事業内容	豊川市推奨観光ルートを活用したウォーキングイベントや、市民向け観光資源探訪ツアーを実施する。また、それに伴う観光案内看板の修繕を行い、来訪者の利便性の向上と誘客を図るとともに、市民へ観光資源や周遊ルートを周知することにより、市民への情報発信につなげ観光ルートをPRする。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△
観光資源探訪ツアー開催数(件/年度)	目標値	2	2	2	1,203千円		
	実績値	—	—				
連番	32	事業名	観光おもてなし力促進事業	担当課	商工観光課		
事業内容	市民向け観光資源探訪ツアーなどを実施し、市民へ観光資源および観光ルートを周知することにより、市民からの情報発信につなげ観光ルートをPRする。今まで培われてきた「おもてなしの心」を活かして、観光での「まちおこし」、「まちづくり」を担う人材の発掘と育成を行うため、観光まちづくりボランティア講座を実施する。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○
観光ものしり検定参加者数(人/年度)	目標値	200	100	120	970千円		
	実績値	97	165				
連番	33	事業名	シティセールス推進事業	担当課	秘書課		
事業内容	まちの魅力を市内外へ発信するため、都市圏におけるPR活動をはじめ、イベントサポート制度による団体支援、PRグッズの作成など、「豊川市シティセールス戦略プラン」に位置づけた取組により、シティセールスの推進を図る。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△
都市圏プロモーション活動(回/年度)	目標値	2	2	2	11,570千円		
	実績値	0	1				
連番	34	事業名	ふるさと納税および企業版ふるさと納税の活用を通じた関係人口の創出・拡大	担当課	企画政策課		
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大への対策事業の一環として、市内事業者によるふるさと納税返礼品を拡充し、関係人口創出の機会を増加させる。また、企業版ふるさと納税についても豊川市にゆかりのある企業等に対して周知・啓発を行い、豊川市の取組への応援機運を醸成する。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎
返礼品数(品/年度)	目標値	90	90	310	36,645千円		
	実績値	107	244				

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 ただし、登録者が増加しているSNSを始め、いかに多くの人に本市へ来てもらうかという観点からの発信力を強化するとともに、観光ボランティアなどの人材育成により観光客の受け入れ体制を強化しながら、当施策を推進する。

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり

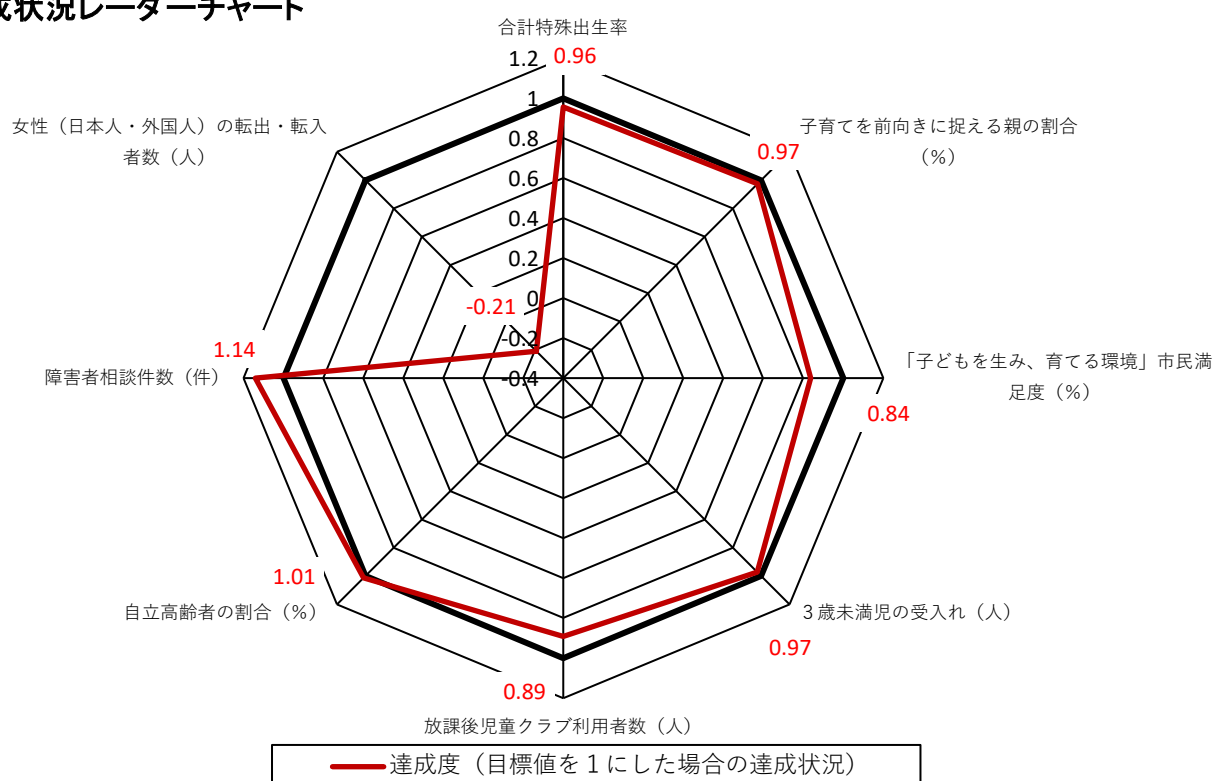
【基本的方向】

若い世代が将来に不安なく結婚し、希望する時期に安心して出産や子育てができる「子育てしやすい豊川市」といわれるような環境をつくるとともに、誰もが活躍できる地域社会をつくります。

基本目標③ 主たる重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
合計特殊出生率	(上段:数値)	1.55	1.59	1.42	1.56			1.63
	(下段:達成度)	—	B	B	B			

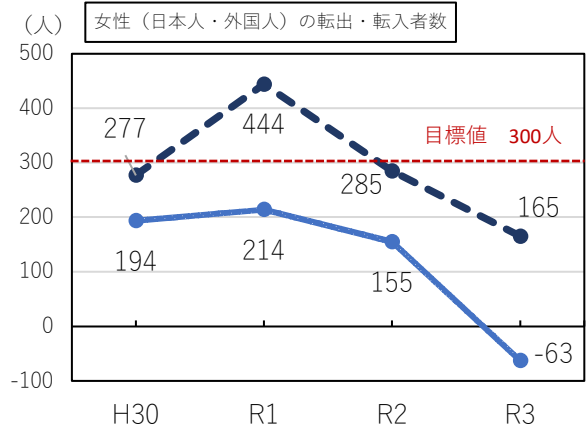
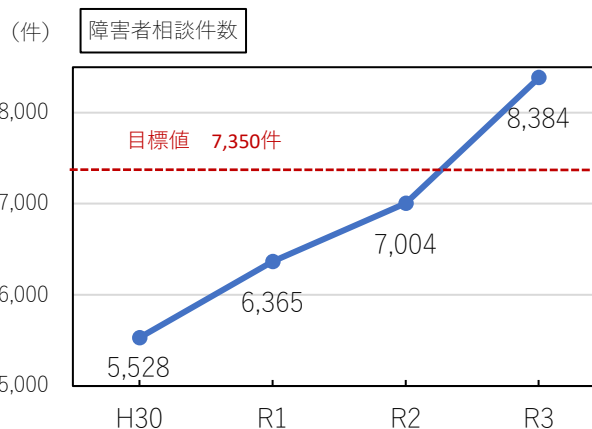
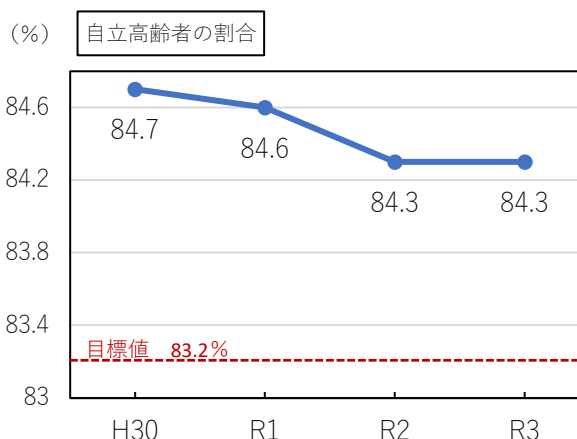
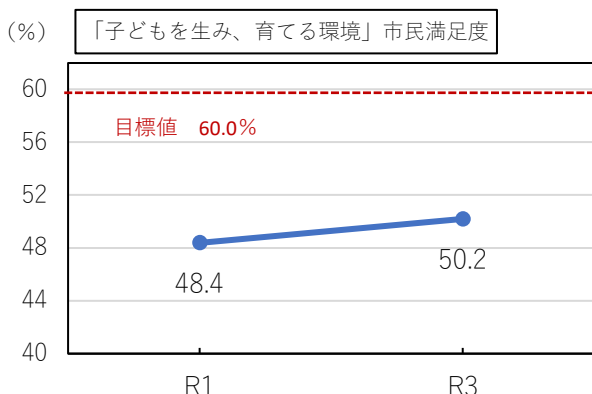
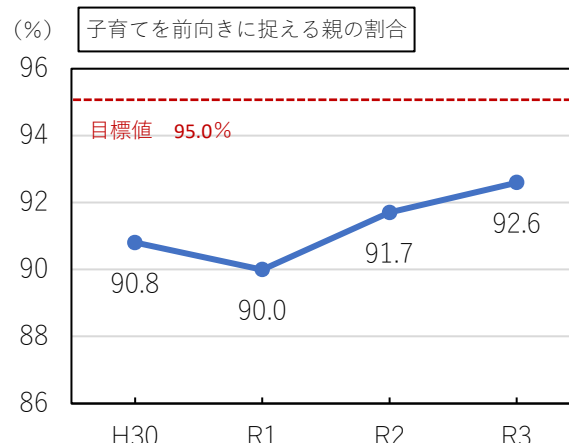
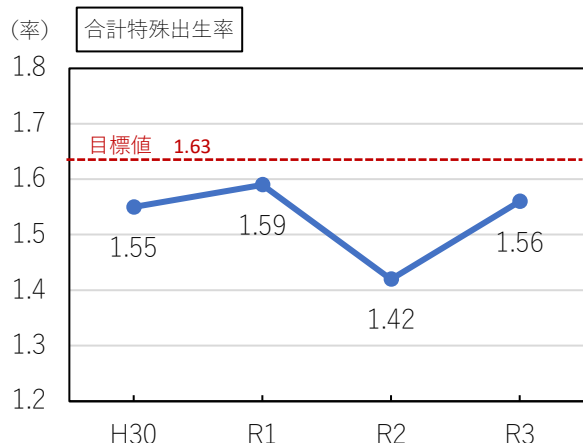
1. 達成状況レーダーチャート



2. 評価

評価基準	施策の効果を	A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIのうち「障害者相談件数」、「自立高齢者の割合」が目標値を超え、目標値達成率は25%(8項目中2項目)となった。 ・高齢化率が高まる中で「自立高齢者の割合」は横ばいで、「障害者相談件数」はニーズへの対応として増加傾向にあり、誰もが活躍できる地域社会づくりに向け、福祉施策が支えとなっている。 ・「合計特殊出生率」、「子どもを生み、育てる環境」市民満足度、「子育てを前向きに捉える親の割合」、「3歳未満児の受入れ」は前回数値より増加しており、結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策が寄与していると評価する。 		
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・主たるKPIである「合計特殊出生率」は、愛知県平均を上回っており、また前年度から大きく回復している点を考慮すれば積極的に評価できる。 ・KPIのうち、「合計特殊出生率」が向上した理由は、「子育てを前向きに捉えられる親の割合」、「子供を産み、育てる環境」市民満足度が微増していることと関係しているように考えられる。更なる具体的施策の充実を期待する。 		

3. 重要業績評価指標(KPI)の推移



凡例

- 実績値① (出生・転入-死亡・転出)
- - - 実績値② (転入-転出)

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり

施策(1) 安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援

- 一般不妊治療費の助成、育児相談、予防接種費用の助成、各種健康診査の充実など、母子の健康増進と子育てにかかる経費負担の軽減を図ります。
- 子ども達が知性や感性を磨き、豊かな人間性を身に付けることができるよう、学校環境・教育の充実を図ります。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
「子どもを生み、育てる環境」市民満足度(%)	実績値	48.4	—	—	50.2			60.0
	達成度	—	—	—	B			
子育てを前向きに捉える親の割合(%)	実績値	90.8	90.0	91.7	92.6			95.0
	達成度	—	B	B	B			

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない				
内部評価	B	内部評価分析 (コメント)	・「子どもを生み、育てる環境」市民満足度は、前回調査から1.8ポイント上昇した。「子育てを前向きに捉える親の割合」も増加傾向にある。 ・各事業は、全般的に順調に進捗しており、令和3年度から新たに「子育て応援金支給事業」を開始したことなどにより、子育てにかかる経費の負担軽減が図られたことから、安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援を行う施策の効果を発揮できていると評価する。		
外部評価	B	外部評価検証 (コメント)	・各事業を着実に実施しており、出生率の向上や市民満足度に繋がっていると高く評価する。 ・世代別の市民満足度の結果を見ると、出産・子育て世代である20代・30代が低いため、子育て未経験者や子育て中の世代で、市の事業や政策が認知されていないのではないかと懸念する。		

基本目標③－施策(1) 安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、-:未着手・未実施

3. 主な事業

連番	35	事業名	子育て世代包括支援事業	担当課	子育て支援課	
事業内容	利用者支援事業として、妊娠期からの支援が必要な家庭に対し、子育て支援サービスなどを円滑に利用できるよう、身近な実施場所で情報の収集と提供を行い、個々のニーズに併せた助言などを行うとともに関係機関との連絡調整などの支援を行う。					
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	
相談支援件数(件/年度)	目標値	900	900	900	23,521千円	
	実績値	848	1,023			
					事業効果自己評価	◎
連番	36	事業名	妊産婦支援事業	担当課	保健センター	
事業内容	妊娠・出産期において、身内の支援を受けられない妊産婦に対し、家事援助などのヘルパー利用に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図る。また、産後、身内の支援を受けられない、育児不安が強いなどの母子に対し、前向きに子育てできることを目的に産科機関に宿泊し、心身のケアや育児サポートを受ける産後ケアの費用を補助する。					
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	
産後ケア利用者数(人/年度)	目標値	18	40	94	4,282千円	
	実績値	32	53			
					事業効果自己評価	◎
連番	37	事業名	結婚支援事業	担当課	子育て支援課	
事業内容	結婚の悩みへの寄り添い、結婚に向けての準備支援および出会いの場の提供に係る事業を実施する。					
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	
婚活イベント参加者数(人/年度)	目標値	120	120	120	1,832千円	
	実績値	18	80			
					事業効果自己評価	○
連番	38	事業名	産婦健康診査事業	担当課	保健センター	
事業内容	妊娠・出産に向けた支援として、出産後の母体の健康確保を図るとともに、経済的な負担を軽減するため産後健康診査の公費負担を1回実施する。					
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	
一人当たりの補助回数(回/年度)	目標値	1	1	1	147,219千円	
	実績値	1	1			
					事業効果自己評価	○
連番	39	事業名	乳幼児健康診査事業	担当課	保健センター	
事業内容	乳幼児の健康の保持増進および発育発達状況の確認、並びに異常の早期発見や早期治療のため、乳児健康診査の公費負担を2回実施するとともに、4か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査および2歳児の歯科健康診査を集団で実施する。					
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	
集団健康診査受診率(%/年度)	目標値	98	98	98	36,412千円	
	実績値	97	97			
					事業効果自己評価	○
連番	40	事業名	こんにちは赤ちゃん事業	担当課	保健センター	
事業内容	4か月児健康診査の前までに乳児がいるすべての家庭を訪問することにより、子育て支援に関する情報提供や養育環境の把握を行い、支援が必要な家庭については、適切なサービス提供を行う。					
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	
保健センター訪問者数(人/年度)	目標値	1,390	1,309	1,400	5,187千円	
	実績値	1,386	1,304			
					事業効果自己評価	○
連番	41	事業名	一般不妊治療費助成事業	担当課	保健センター	
事業内容	不妊治療(体外受精および顕微授精を除く不妊治療)に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図る。					
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	
申請件数(件/年度)	目標値	115	115	140	16,900千円	
	実績値	125	148			
					事業効果自己評価	◎
連番	42	事業名	子どもの予防接種費用助成事業	担当課	保健センター	
事業内容	現在、任意接種により行われている「おたふくかぜ」の予防接種に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図る。また、骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと主治医に判断された20歳未満の方が、任意で予防接種を再接種するための費用を補助する。					
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	
おたふくかぜワクチン接種者数(人/年度)	目標値	1,310	1,330	1,400	2,860千円	
	実績値	1,271	1,012			
					事業効果自己評価	○

基本目標③－施策(1) 安心して出産し、子どもが健やかに育つための支援

連番	43	事業名	子ども医療費支給事業	担当課	保険年金課		
事業内容	令和2年4月から、無料化の範囲を出生から中学3年生年度末までの入通院に加え、高校生世代の入院まで拡大し医療費保険診療分の自己負担額を全額支給することで、子育て支援の一助として経済的な負担の軽減を図る。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	◎
入院無料化の範囲	目標値	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	757,001千円		
	実績値	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで				
連番	44	事業名	子育て応援金支給事業	担当課	子育て支援課		
事業内容	令和2年4月1日以降に生まれた子どもを養育する方を応援するため、1歳になる誕生月の1日において、豊川市に住民登録のある児童1人につき3万円を、その養育者に支給する。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○
申請件数(件/年度)	目標値	—	1,500	1,500	48,433千円		
	実績値	—	1,408				
連番	45	事業名	学校教育環境の整備	担当課	教育庶務課		
事業内容	子どもたちが衛生的で安全な環境で学校生活が送れるよう、老朽化した小中学校校舎及び屋内運動場トイレの改修工事を実施する。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○
改修工事	目標値	8校(校舎)	園舎作成・屋内運動場・34校	7校(屋内運動場)	14,520千円		
	実績値	8校(校舎)	園舎作成・屋内運動場・34校				
連番	46	事業名	学級運営支援事業	担当課	学校教育課		
事業内容	発達障害など支援が必要な児童生徒の在籍する学級に学級運営支援員を派遣する。支援員の派遣については、市内各小中学校から出された希望をもとに、市教育委員会が必要と認めた学校に派遣する。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	◎
学級運営支援員の配置人数(人/年度)	目標値	79	84	89	69,683千円		
	実績値	79	84				
連番	47	事業名	ICTを活用した教育環境(GIGAスクール構想)の推進	担当課	学校教育課		
事業内容	学習指導要領に準拠した情報教育と情報モラル教育の充実を図るとともに、ICT機器を活用した授業を進めていく。日々の教育活動の中で、教員や児童生徒によるICTを活用した積極的かつ効果的な取組を推進し、より良い授業の実現、児童生徒の学力の向上につなげていく。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	◎
学習に意欲的に取り組んだと自己評価した児童・生徒の割合(%)	目標値	59	59	62	44,505千円		
	実績値	60	63				
連番	48	事業名	豊川産農産物を活用した学校給食の推進	担当課	学校給食課		
事業内容	学校給食における豊川産農産物の使用割合を向上させる。						
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	◎
豊川産農産物使用割合(品目ベース・%)	目標値	10%以上	10%以上	10%以上	—		
	実績値	11.6	12.2				

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	<p>施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。</p> <p>ただし、出産・子育て支援の各種取組に関し、若い世代の市民満足度が低い理由を分析し、その是正に努めながら、当施策を推進する。</p>

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり

施策(2) 保育サービス・子育て支援サービスの充実と子育てにやさしいまちづくり

- 希望するすべての人が安心して子どもを預け、仕事と子育てを両立できるように、保育サービスや保育施設などの充実を図ります。
- 子育て支援センターを軸に、関係機関・団体が連携し、地域全体で子ども達を見守り、子育てを支援する仕組みを構築します。
- 総合保健センターの整備をはじめとした子育てに配慮した設備の充実、情報提供など、子育てにやさしいまちづくりを推進します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
3歳未満児の受入れ(人)	実績値	1,316	1,343	1,412	1,458			1,500
	達成度	—	B	B	B			
放課後児童クラブ利用者数(人)	実績値	1,421	1,503	1,608	1,604			1,800
	達成度	—	B	B	B			

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を			
	A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析 (コメント)	<p>・「3歳未満児の受入れ」、「放課後児童クラブ利用者数」とともに、目標に向けておおむね順調に推移している。</p> <p>・各事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績が少ないものはあるが、おおむね順調に進捗している。令和3年度から新たに「保育所などの給食費減免事業」を開始したことなどにより、保育サービスの充実が図られたことから、子育てにやさしいまちづくりに向けた施策の効果を発揮できていると評価した。</p>	
外部評価	B	外部評価検証 (コメント)	<p>・KPIである「3歳未満児の受入れ」、「放課後児童クラブ利用者数」は目標達成に向けて推移しており、評価できる。当施策に位置付ける事業の多くは、基本目標③に寄与していると考えられる。</p> <p>・保護者の多様な勤務形態に合わせた時間外保育事業について評価する。保育事業で、人材確保が全国的な課題となっている。利用者数だけでなく、働き手の環境の充実についても指標があるとよい。</p>	

基本目標③ー施策(2) 保育サービス・子育て支援サービスの充実と子育てにやさしいまちづくり

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

3. 主な事業

連番	49	事業名	育休明けの入所予約制度	担当課	保育課			
事業内容	産休・育休明けの保護者が年度途中でも安心して職場復帰できるように保育所への入所決定を早い段階で行う仕組みを構築する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
入所予約児童数(人/年度)	目標値	50	50	50	7,462千円			
	実績値	39	42					
連番	50	事業名	保育所などの給食費減免事業	担当課	保育課			
事業内容	子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育て支援に寄与するため、豊川市に住所を有する保育所などに通う全ての児童の給食費(主食費、副食費)を減免する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
減免対象者数(人/年度)	目標値	—	4,900	4,778	89,364千円			
	実績値	—	4,688					
連番	51	事業名	保育施設などの環境整備	担当課	保育課			
事業内容	乳幼児期にふさわしい園庭遊具の整備や老朽化したトイレの改修にあわせた洋式化を実施するなど、保育・教育環境の向上を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
保育園遊具整備数(園/年度)	目標値	9	6	5	41,764千円			
	実績値	9	6					
連番	52	事業名	保育所の施設整備	担当課	保育課			
事業内容	公立保育所において、老朽化の進む施設の改築・統廃合を実施し、3歳未満児の受入拡充を図る。また、民間事業者に対して、老朽化の進む施設の整備に係る費用を補助することにより、3歳未満児の受入拡充を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
【民間保育所】整備費補助実施園数(園/年度)	目標値	1	2	5	968,181千円			
	実績値	1	2					
連番	53	事業名	総合保健センターの整備	担当課	保健センター			
事業内容	関係団体と調整を実施し、総合的な医療・健康対策の拠点として、総合保健センター(仮称)を建設する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
工程計画	目標値	基本構想策定	基本計画策定	基本設計	20,310千円			
	実績値	0	基本構想策定・基本計画策定					
連番	54	事業名	時間外保育事業	担当課	保育課			
事業内容	多様な保育需要に対応するため、平常保育の時間を超えて、時間外保育を実施する。 平日:午前7時30分~午後7時30分-17園、午前7時30分~午後6時30分-1園、午前7時30分~午後6時-30園 土曜日:午前7時30分~午後2時-47園、午前7時30分~午後6時-1園							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎	
延べ利用児童数(人/年度)	目標値	利用希望者全ての受入	利用希望者全ての受入	利用希望者全ての受入	289,203千円			
	実績値	29,225	30,125					
連番	55	事業名	一時預かり事業	担当課	保育課			
事業内容	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育、保護者の疾病などによる緊急時の保育などの需要に対応するため、一時預かり事業を実施する(12園)。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
延べ利用児童数(人/年度)	目標値	7,338	6,110	5,507	72,806千円			
	実績値	4,799	5,507					

基本目標③ー施策(2) 保育サービス・子育て支援サービスの充実と子育てにやさしいまちづくり

連番	56	事業名	病児・病後児保育事業			担当課	保育課	
事業内容	病氣中又は病氣の回復期の子どもで、保護者の就労などの理由により保護者が保育できない際に、専用施設で子どもの保育を実施する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価		
延べ利用児童数(人/年度)	目標値	500	500	500	10,122千円		△	
	実績値	9	130					
連番	57	事業名	子育て支援センター事業			担当課	子育て支援課	
事業内容	社会環境の変化、少子化および核家族化の進展などに伴い、育児不安や親の孤立化が増大する中で、社会全体で子育てを支援するため、子育て支援センターにおいて子育て不安に対する相談・指導などを行う。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価		
延べ相談件数(件/年度)	目標値	400	400	400	6,803千円		○	
	実績値	400	323					
連番	58	事業名	ファミリー・サポート・センター事業			担当課	子育て支援課	
事業内容	育児の応援をしてほしい方(依頼会員)と育児の援助をしたい方(援助会員)を会員として登録し、依頼会員の求めに応じて援助会員を紹介する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価		
活動件数(件/年度)	目標値	2,000	2,000	2,000	2,121千円		◎	
	実績値	2,474	2,091					
連番	59	事業名	放課後児童健全育成事業			担当課	子育て支援課	
事業内容	保護者の就労又は疾病などの理由により、放課後帰宅しても保護者のいない小学校に就学している留守家庭児童を対象に児童クラブを設置し、児童の福祉の向上を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価		
児童クラブ開設数(クラブ/年度)	目標値	47	49	49	456,905千円		○	
	実績値	46	47					

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	<p>施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。</p> <p>ただし、保育や子育て支援に携わる働き手の環境充実を捉える指標について、適切な手法を検討しながら、当施策を推進する。</p>

基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり

施策(3) 共生のまちづくりの推進

- 誰もが活躍できる地域社会をつくるため、女性、高齢者、障害者および外国人が共生するまちづくりを推進します。
- 高齢者の健康と体力の保持、増進を図り、地域における交流の場づくりを支援するとともに、生涯現役で働くことができる就労機会の確保を支援します。
- 障害者、外国人の希望に応じた就労や社会参加および女性の就労継続・再就職支援などに関する取組を推進します。
- 複雑・複合化した市民の支援ニーズに対応するために、重層的支援体制の整備を推進します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
自立高齢者の割合(%)	実績値	84.7	84.6	84.3	84.3			83.2
	達成度	—	A	A	A			
障害者相談件数(件)	実績値	5,528	6,365	7,004	8,384			7,350
	達成度	—	B	B	A			
女性(日本人・外国人)の転出・転入者数	実績値①(出生・転入－死亡・転出)	+194	+214	+155	-63			+300
	達成度	—	C	C	D			
	実績値②(転入－転出)	+277	+444	+285	+165			—

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を		A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	<p>・「自立高齢者の割合」は、高齢者人口の増加に伴い割合の減少が見込まれる中、前年度と同様の割合を維持した。「障害者相談件数」は、障害者数の増加や相談内容の多様化、困難化に伴い、著しく増加している。</p> <p>・各事業の活動指標について、一般市民参加型の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績が少ないものはあるが、令和3年度から地域住民の属性を問わない、複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制の整備が進められていることなどから、共生のまちづくりに向けた施策を進捗できていると評価する。</p>			
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	<p>・KPIでは、2項目で目標値を上回っており、評価できる。</p> <p>・「女性の転出、転入者数」については、目標値を大きく下回る状況となっている。女性に限ることではないが、ワーク・ライフ・バランス、子育てとの両立を図りながら自己実現できる地域社会の実現度を点検する必要があると考える。</p> <p>・「外国人児童の日本語学習機会の提供」について、中学校を卒業してからの対応ができていないため、年齢を問わず対応できる体制づくりを急ぐべきである。</p>			

基本目標③ー施策(3) 共生のまちづくりの推進

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定
 ◎: 非常に効果的であった(目標値を上回った)、○: 相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△: 効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×: 効果がなかった、効果が得られなかった、—: 未着手・未実施

3. 主な事業

連番	60	事業名	介護予防普及啓発事業および地域介護予防活動支援事業			担当課	介護高齢課	
事業内容	高齢者を対象に介護予防の意識を高め、教室や講座の参加者や通いの場が地域で継続的に拡大していくような地域づくりを支援する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
介護予防教室参加延べ人数(人/年度)		目標値 7,090	7,180	7,185	33,042千円			
		実績値 3,940	5,229					
連番	61	事業名	在宅医療・介護連携推進事業			担当課	介護高齢課	
事業内容	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、在宅医療・介護連携体制の構築、患者・家族への後方支援および在宅チーム医療の人材育成などを行う。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎	
電子連絡帳システムに登録されている延べ患者数(人/年度)		目標値 2,300	2,950	4,000	10,233千円			
		実績値 2,931	3,611					
連番	62	事業名	シルバー人材センターへの支援			担当課	介護高齢課	
事業内容	定年退職後などにおいて、高齢者の労働能力の活用を図るための事業を実施しているシルバー人材センターに対し、事業費の一部を補助することで、生きがいづくりや社会参加などを希望する高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎	
シルバー会員数(人/年度末)		目標値 1,150	1,200	1,250	30,732千円			
		実績値 1,154	1,214					
連番	63	事業名	障害者相談支援事業			担当課	福祉課	
事業内容	障害者等の福祉に関する問題に、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止等の権利擁護のために必要な援助を行う。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
障害者相談件数(件/年度)		目標値 6,365	6,550	6,750	63,246千円			
		実績値 7,004	8,384					
連番	64	事業名	障害者ワークステーション事業			担当課	人事課	
事業内容	働く意欲があるものの就労に結びつかなかった、あるいは就労する機会がなかった障害者を対象に、会計年度任用職員として採用し、庁内において集約した軽易な作業を行うことにより今後の就労に向けた業務経験を積んでいただくとともに、庁内における業務の効率化を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
ワークステーションにおける障害者雇用数(人/年度)		目標値 4	6	6	13,332千円			
		実績値 4	6					
連番	65	事業名	外国人児童への日本語学習機会の提供			担当課	市民協働国際課	
事業内容	日本語が未熟で小中学校に不登校や不就学の外国人児童生徒に日本語等の学習機会を提供し、小中学校への円滑な転入を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△	
こぎつね教室入室者数(人/年度)		目標値 90	90	90	17,111千円			
		実績値 47	43					
連番	66	事業名	外国人受入環境整備事業			担当課	市民協働国際課	
事業内容	外国人市民が生活に関する情報や相談場所に適切・迅速に到達できるよう、多言語で情報提供や相談を行うワンストップ型の「外国人相談窓口」を市民協働国際課に設置し運営する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
外国人相談窓口利用件数(件/年度)		目標値 6,900	9,000	9,000	21,144千円			
		実績値 9,180	8,632					
連番	67	事業名	ワーク・ライフ・バランスの推進			担当課	人権交通防犯課	
事業内容	啓発チラシ・情報紙などでワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を行うとともに、男女共同参画に関する講座の中でそれに資する講座メニューを加える。また、おいでん祭にて来場者を対象にワーク・ライフ・バランスに関するアンケートを実施、啓発し、その推進を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△	
ワーク・ライフ・バランスに関する講座の参加人数(人/年度)		目標値 64	64	64	2,877千円			
		実績値 15	22					

連番	68	事業名	とよかわオープンカレッジへの支援			担当課	生涯学習課	
事業内容	市民の学習成果を活用し、市民が共に学びあう市民参画型生涯学習システム「とよかわオープンカレッジ」は平成21年度より開設している。一般社団法人とよかわオープンカレッジへの補助、会場として生涯学習センターなどを使用する場合の優先予約、使用料金の減免措置などの支援を行う。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○
講座数(講座/年度)		目標値	350	350	350	3,500千円		
		実績値	138	291				
連番	69	事業名	重層的支援体制整備事業			担当課	福祉課	
事業内容	地域住民の属性を問わない、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備する重層的支援体制整備事業の実施に向け、令和3年度より、市内10か所の高齢者相談センター及び出張所に配置されたコミュニティソーシャルワーカーが、福祉に関する様々な相談の窓口となり、各支援機関と連携して包括的な支援を実施する。							
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○
重層的支援会議実施回数(回/年度)		目標値	—	5	5	30,463千円		
		実績値	—	2				

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 ただし、女性人口の社会増の受け皿となるふさわしい地域のあり方や、年齢などでサービスが分断されない施策展開に着目し、関係団体との連携強化などを図りながら、当施策を推進する。

基本目標④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

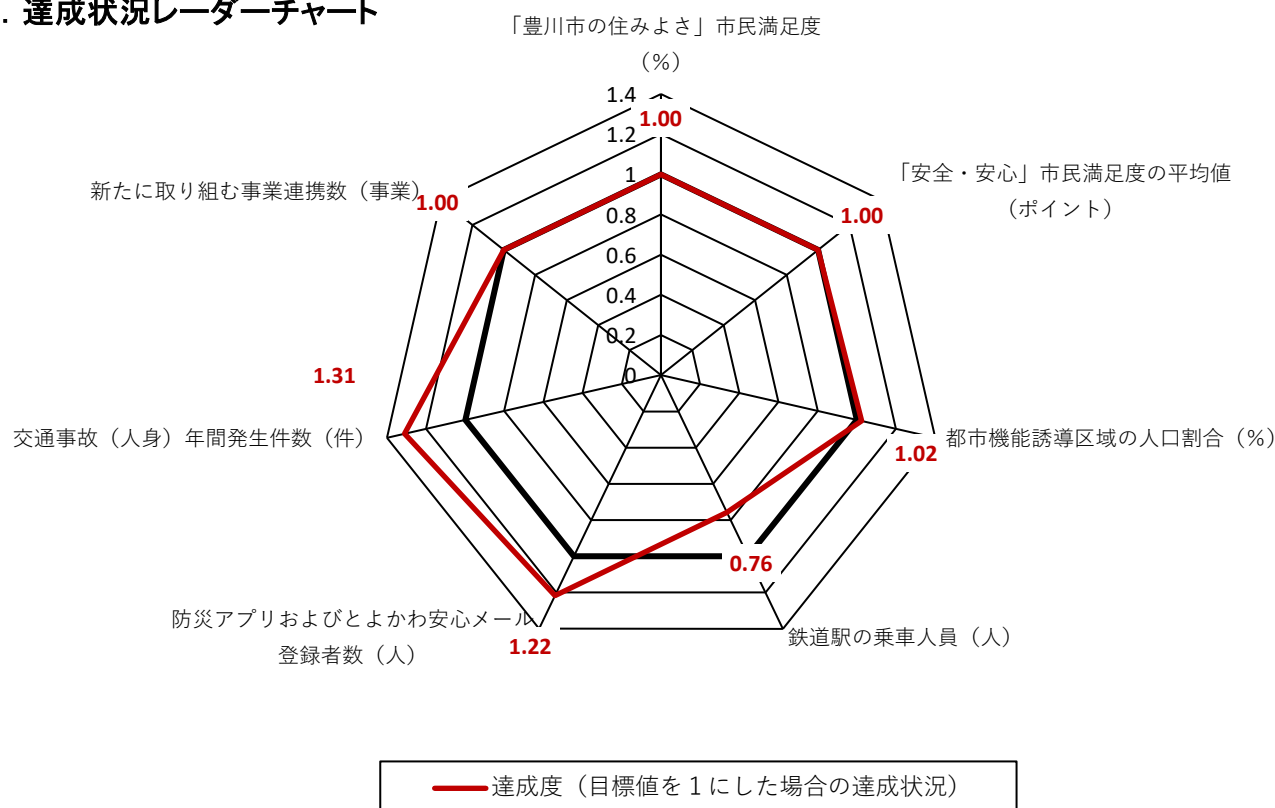
【基本的方向】

高齢化に伴う人口減少社会を迎える中、誰もが安心して健やかに暮らし続けることができる、安全で快適に暮らせる「まち」をつくります。

基本目標④ 主たる重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
「豊川市の住みよさ」市民満足度(%)	(上段:数値)	89.4	—	—	90.0			90.0
	(下段:達成度)	—	—	—	A			

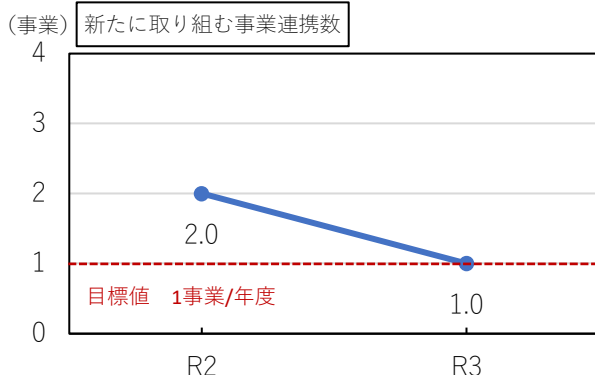
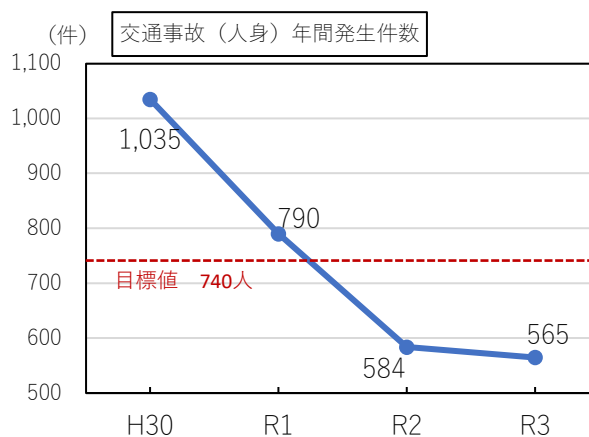
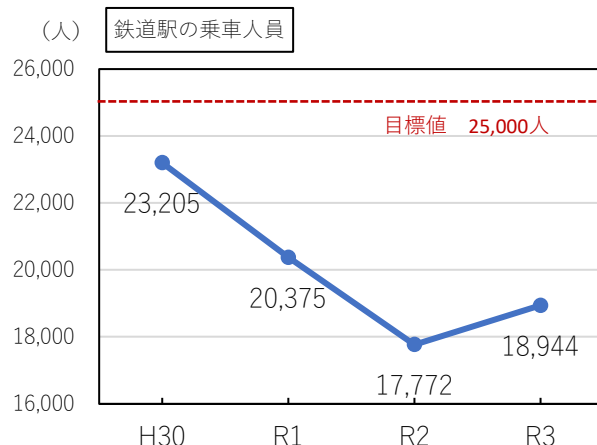
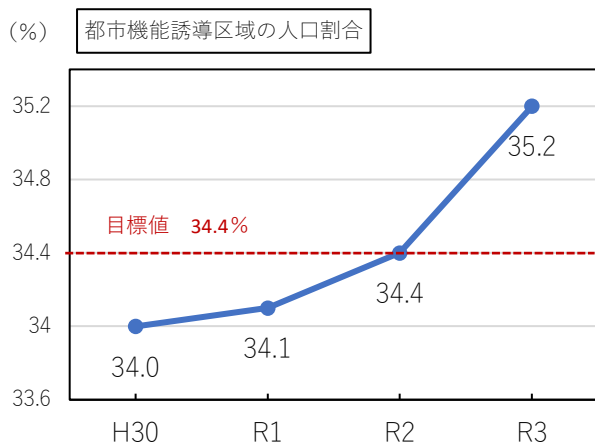
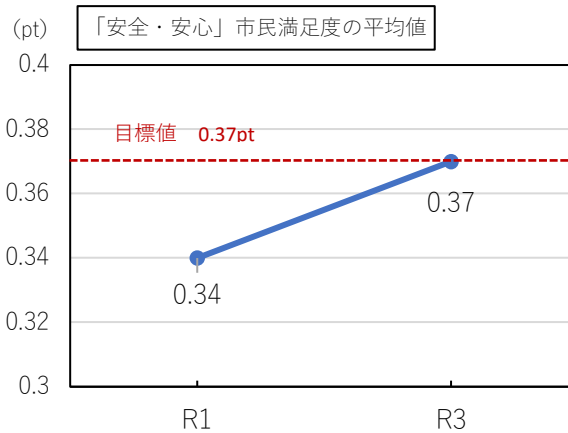
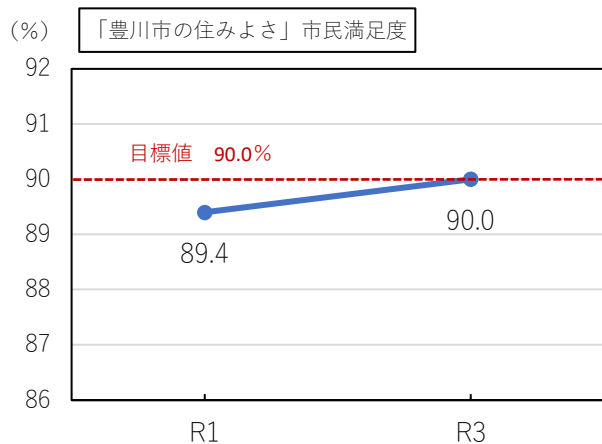
1. 達成状況レーダーチャート



2. 評価

評価基準	施策の効果	A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIのうち6項目が目標値を超え、目標値達成率は、86%(7項目中6項目)となった。 ・本目標の主たるKPIである「豊川市の住みよさ」市民満足度が90%に到達したことを踏まえ、安全で快適に暮らせるまちづくりの施策が効果を発揮できていると評価する。 ・「防災アプリおよびとよかわ安心メール登録者数」が増加し、「交通事故(人身)年間発生件数」が減少したのは、新型コロナウイルス感染症による社会の潮流の変化(外出自粛や安全志向)が影響したと考えられる。 		
外部評価	B	外部評価検証 (コメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIは「鉄道駅の乗車人員」を除き、目標を達成しており、全体として施策の効果が認められる。 ・「住みよさ」市民満足度の90%は評価する。市民の声を施策に反映させている成果と捉える。 		

3. 重要業績評価指標(KPI)の推移



基本目標④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

施策(1) 拠点間の連携・拠点周辺への都市機能集約と居住の促進

- コンパクトなまちづくりを推進するため、中心市街地や主要駅周辺の地域拠点などに医療・福祉施設、商業施設などの都市機能を集約し、市外からの移住による居住促進を図ります。
- 公共交通機関の利便性を向上し、拠点間の連携を図ります。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
都市機能誘導区域の人口割合(%)※1	実績値	34.0	34.1	34.4	35.2			34.4
	達成度	—	B	A	A			
鉄道駅の乗車人員(人)	実績値	23,205	20,375	17,772	18,944			25,000
	達成度	—	B	C	C			

※1 都市機能誘導区域の人口割合は、豊川市立地適正化計画(平成29年3月)に基づく「都市機能誘導区域」内人口と市人口の割合です。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を		A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	・「都市機能誘導区域の人口割合」は、前回調査から1.8ポイント上昇した。「鉄道駅の乗車人員」は、新型コロナウイルス感染症の影響で減少しているものの、前年度からは回復した。 ・各事業の活動指標について、一部に新型コロナウイルス感染症の影響が見受けられるものの、おおむね改善していることから、拠点間の連携・拠点周辺への都市機能集約と居住の促進に向けた施策の効果を発揮できていると評価する。			
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	・人口減少時代にコンパクトシティ化を進める中、「都市機能誘導区域の人口割合」が目標値を上回ったことは評価する。 ・「鉄道駅の乗車人員」は、減少しているものの、愛知御津駅の整備が進めば改善も見込まれる。 ・一方、都市機能誘導区域以外の地域への配慮も必要と考える。			

基本目標④－施策(1) 拠点間の連携・拠点周辺への都市機能集約と居住の促進

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎：非常に効果的であった(目標値を上回った)、○：相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7～8割達成)、△：効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×：効果がなかった、効果が得られなかった、—：未着手・未実施

3. 主な事業

連番	70	事業名	愛知御津駅の橋上化および周辺整備			担当課	都市計画課	
事業内容	線路で分断されている市街地の一体形成や踏切、ガード下の歩行者の安全確保を図るため愛知御津駅周辺において橋上化、自由通路及び駅前広場等の整備を行う。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
工程計画	目標値	橋上駅自由通路概略設計	都市計画変更及び事業認可資料作成	覚書の締結	6,412千円			
	実績値	橋上駅・自由通路概略設計	都市計画変更及び事業認可資料作成					

連番	71	事業名	拠点地区定住促進事業			担当課	都市計画課	
事業内容	豊川市立地適正化計画で定める都市機能誘導区域において、市外からの転入者(他条件有)に対し固定資産税相当額を助成する施策を実施することで、定住促進を図る。また、補助対象者が中学生以下の子を持つ世帯の場合には、奨励金を交付する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
補助金交付件数(件/年度)	目標値	120	142	187	30,760千円			
	実績値	158	180					

※事業費は連番72の事業との合算額です。

連番	72	事業名	拠点地区への都市機能立地の促進			担当課	都市計画課	
事業内容	豊川市立地適正化計画で定める都市機能誘導区域において、同計画で設定した都市機能施設を新設して運営する事業者(他条件有)に対し固定資産税相当額などを助成する施策を実施することで、都市機能を集約し、利便性の向上を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
補助金交付件数(件/年度)	目標値	10	16	15	30,760千円			
	実績値	10	13					

※事業費は連番71の事業との合算額です。

連番	73	事業名	八幡地区の都市機能集積と拠点間連携の推進			担当課	八幡駅周辺地区まちづくり推進室	
事業内容	八幡駅周辺地区について、都市機能を向上させるため、大規模工場跡地の土地利用の転換を図り、市民病院、駅という立地条件を活かし、公共施設、商業、福祉、住宅など多様な機能を集積した地域拠点を形成する。また、地域拠点の形成にあたり、渋滞緩和、交通安全、土地利用の促進および緊急車両の対応のため、道路拡幅改良工事等を実施する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
工程計画	目標値	詳細設計・関係機関協議	道路改良工事	道路改良工事	972,656千円			
	実績値	詳細設計・関係機関協議	道路改良工事					

連番	74	事業名	土地利用規制の緩和			担当課	都市計画課	
事業内容	地域拠点周辺の7地区において、都市基盤施設整備を実施するとともに、建ぺい率、容積率を緩和し、土地利用促進を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
建築規制緩和地区数(地区/年度)	目標値	—	1	—	61,279千円			
	実績値	—	1					

連番	75	事業名	空き家等対策の推進			担当課	建築課	
事業内容	相談窓口を建築課に一本化するとともに、庁内連絡会議を設置し情報共有を図る。また、空家等対策協議会を開催し、空家等実態調査の結果などを基に空家等対策計画を策定し、地域住民の生活環境の保全を図るため、具体的施策を総合的かつ計画的に実施していく。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
老朽空家等解体費補助金交付件数(件/年度)	目標値	60	58	57	14,960千円			
	実績値	47	64					

連番	76	事業名	公共交通機関等利用促進事業			担当課	人権交通防犯課	
事業内容	豊川市地域公共交通計画に基づき、将来にわたって持続可能な公共交通網の実現を目指すため、地域や生活の足として、コミュニティバスを運行する。現在は基幹路線6路線、地区地域路線4路線の10路線により運行。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
コミュニティバス利用者数(人/年度)	目標値	130,000	87,000	90,000	121,968千円			
	実績値	71,129	71,529					

基本目標④－施策(1) 拠点間の連携・拠点周辺への都市機能集約と居住の促進

連番	77	事業名	市有地の宅地分譲			担当課	建築課・財産管理課	
事業内容	耐久性のない老朽化した市営住宅を順次用途廃止し、その跡地を宅地分譲するとともに、未活用地となった市有地を売却し、歳入確保及び人口増に向けた取組を実施する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○	
市営住宅入居者移転戸数(戸/年度)		目標値 7	8	4	17,423千円			
		実績値 7	8					

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	<p>施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。</p> <p>ただし、都市機能誘導区域の中心となる駅周辺の整備と、それ以外の区域の住みやすさや都市機能への良好なアクセスといった観点を重視しながら、当施策を推進する。</p>

基本目標④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

施策(2) 地域の安全・安心・高付加価値化の推進

- 居住しやすい環境づくりに向け、消防・防災対策、防犯対策を強化し、地域の安全性の向上を図ります。
- 交通事故から命を守るため、通学路の安全対策や高齢者の安全運転への支援などの交通安全対策を推進します。
- 空き店舗などのリノベーションや再生可能エネルギーの活用促進を支援し、地域の高付加価値化を図ります。
- 感染症が拡大しない地域づくりを推進します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
「安全・安心」市民満足度の平均値(ポイント)※1	実績値	0.34	—	—	0.37			0.37
	達成度	—	—	—	A			
防災アプリおよびとよかわ安心メール登録者数(人)	実績値	29,000	31,735	34,319	48,659			40,000
	達成度	—	C	B	A			
交通事故(人身)年間発生件数(件)	実績値	1,035	790	584	565			740
	達成度	—	B	A	A			

※1 「安全・安心」市民満足度の平均値は、市民意識調査「安全・安心」の11項目における評価点の平均値で、「満足」を+2点、「まあ満足」を+1点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点としています。

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果	A:十分に発揮できている	B:発揮できている	C:あまり発揮できていない	D:全く発揮できていない
内部評価	B	内部評価分析(コメント)	・「安全・安心」市民満足度の平均値は、前回調査から0.03ポイント上昇し、目標の0.37に到達した。 ・「防災アプリおよびとよかわ安心メール登録者数」は、令和3年6月から防災アプリの導入を開始し、登録者数が大幅に増加した。 ・「交通事故(人身)年間発生件数」は前年度に引き続き、目標を達成する数で推移している。 ・各事業は、防災教育の一環として養成を進める「とよかわ女性防災リーダー」の人数が前年度より増加するなど、全般的に順調に進捗していることから、地域の安全・安心・高付加価値化の推進に向けた施策の効果を発揮できていると評価する。		
外部評価	B	外部評価検証(コメント)	・「安全・安心」市民満足度が増加しているため、施策の効果が発揮されていると評価する。 ・幹線道路と住宅地をつなぐ生活道路での交通事故が多発していると認識している。道路の安全性を高め、魅力あるまちづくりが望まれる。		

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

3. 主な事業

連番	78	事業名	消防署本署の建替			担当課	消防本部総務課	
事業内容	市民の安全・安心を守るために、耐震性・耐久性及び安全性が確保され、災害時の活動拠点施設としての機能を有した消防庁舎を建設する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
工程計画	目標値	基本構想策定	基本計画策定	基本設計	12,353千円			
		実績値	基本構想策定	基本計画策定				
連番	79	事業名	防災情報の伝達手段の整備			担当課	危機管理課	
事業内容	発災時に迅速かつ効果的な初動対応を図るため、ドローンなどの先進技術を活用した「豊川市ドローン災害対応システム」を構築し実装する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
災害対応システム構築	目標値	体制の検討・検証	実証実験・システム設計	システム構築	2,228千円			
		実績値	体制の検討・検証	実証実験・システム設計				
連番	80	事業名	防災教育の推進			担当課	危機管理課	
事業内容	市民の防災意識の向上のため、令和2年4月に供用開始した豊川市防災センターを拠点として、展示スペースの一般見学、団体見学を行うほか、とよかわ防災リーダー養成講座、とよかわ女性防災リーダー養成講座等の講座、ファミリー防災講座等の啓発イベント等、さまざまな年齢層、対象者に対し、防災教育事業を実施する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
とよかわ女性防災リーダー養成者数(人/年度)	目標値	40	40	40	2,403千円			
		実績値	29	23				
連番	81	事業名	密集市街地整備事業			担当課	都市計画課	
事業内容	市内で密集市街地となっている地区について、防災まちづくりの観点から、防災まちづくり計画の策定や道路の拡幅等を計画し、安心・安全なまちが形成されることを目的とする。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
密集市街地の都市基盤整備次期選定地区数(地区/年度)	目標値	1	1	1	870千円			
		実績値	0	0				
連番	82	事業名	無電柱化推進事業			担当課	都市計画課	
事業内容	道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から無電柱化を推進する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	—	
無電柱化推進計画の策定	目標値	調査検討	調査検討	計画策定	—			
		実績値	調査検討	調査検討				
連番	83	事業名	防犯カメラ設置事業			担当課	人権交通防犯課	
事業内容	犯罪抑止及び地域の防犯の向上を図るため、町内会による防犯カメラ設置事業費に補助をする。また、市内全域において主要な幹線道路や交差点等に防犯カメラを設置する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎	
防犯カメラ設置費補助事業率(%)	目標値	80	90	90	3,056千円			
		実績値	80	90				
連番	84	事業名	通学路の一斉点検と安全対策事業			担当課	道路河川管理課・人権交通防犯課	
事業内容	継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握を行い、対策の改善・充実を行う。これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図る。また、自転車乗車用ヘルメットの着用を推進し、自転車乗車中の交通事故による被害の軽減を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
豊川市通学路安全推進会議の実施回数(回/年度)	目標値	3	3	3	95,797千円			
		実績値	3	3				
連番	85	事業名	高齢者の安全運転への支援			担当課	人権交通防犯課	
事業内容	高齢運転者の踏み間違いによる交通事故を防止するため、車の後付安全運転支援装置の設置に対し補助を行う。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
安全運転支援装置補助件数(台/年度)	目標値	100	100	100	1,443千円			
		実績値	115	51				

基本目標④－施策(2) 地域の安全・安心・高付加価値化の推進

連番	86	事業名	パーク・アンド・ライドの推進			担当課	都市計画課		
事業内容	鉄道利用者の利便性向上、低炭素社会の実現に向けたパークアンドライドの推進を目指し、公共駐車場の拡張整備を行う。								
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○	
愛知御津駅前公共駐車場の拡張整備		目標値	用地取得	整備工事	—	109,394千円			
		実績値	用地取得	整備工事					
連番	87	事業名	再生可能エネルギーの活用促進への支援			担当課	環境課		
事業内容	温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止に寄与することを目的として、住宅用地球温暖化対策設備(太陽光発電及び蓄電池システム等)を設置する市民に対し、その設置費用の一部を補助し、導入の促進を図る。								
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○	
住宅用地球温暖化対策設備補助件数(件/年度)		目標値	170	180	195	15,791千円			
		実績値	167	168					
連番	88	事業名	予防接種事業			担当課	保健センター		
事業内容	定期予防接種A類11疾病・B類2疾病について、個別接種を実施する。対象者に、接種時期に合わせて予診票を個別通知し勧奨し、未接種者には、接種勧奨ハガキを郵送している。								
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	○	
おたふくかぜワクチン接種者数(人/年度)		目標値	1,310	1,330	1,400	2,860千円			
		実績値	1,271	1,012					
連番	89	事業名	市民病院における感染症対応の強化			担当課	市民病院経営企画室		
事業内容	感染症が発生した場合においても、安定した医療提供体制を確保するため、感染症対策に必要な診療材料を継続的に備蓄する。また、感染症に対する意識向上を目的とした職員向けセミナーを開催する。								
活動指標			R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果 自己評価	◎	
感染症対策に係る資材の備蓄(か月分)		目標値	3	3	3	14,118千円			
		実績値	3	3					

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 ただし、住民が生活の基盤とする地域や道路においては、危険個所の除去や改善ができるよう取り組みながら、当施策を推進する。

基本目標④ 安全で快適に暮らせるまちづくり

施策(3) 地域マネジメントと民間活力の導入

- 民間が持つ技術やノウハウを積極的に活用し、公共サービスの維持、向上を図ります。
- 地域の自助、共助による自治力を強化し、地域で課題を解決できる推進体制を支援します。
- 地域や行政サービスにおけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)を支援・推進します。

1. 施策の重要業績評価指標(KPI)

評価基準	目標値を1とした場合の達成度が	A:1以上	B:0.8以上1未満	C:0.5以上0.8未満	D:0.5未満			
重要業績評価指標(KPI)		H30 現状	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標値
「豊川市の住みよさ」市民満足度(%)	(上段:数値)	89.4	—	—	90.0			90.0
	(下段:達成度)	—	—	—	A			
新たに取り組む事業連携数(事業)	実績値	—	—	2	1			6(累積)
	達成度	—	—	A	A			

2. 施策の評価

評価基準	施策の効果を A:十分に発揮できている B:発揮できている C:あまり発揮できていない D:全く発揮できていない				
内部評価	B	内部評価分析 (コメント)	・「豊川市の住みよさ」市民満足度は、前回調査から0.6ポイント上昇し目標とする90%に到達した。 ・各事業について、民間活力を導入した公園の新たな利活用やボランティア・NPOマンパワーの養成による地域力の向上を図る事業を計画通り実施するなど、地域マネジメントと民間活力の導入を図る施策を順調に進捗できていると評価する。		
外部評価	B	外部評価検証 (コメント)	・赤塚山公園の物産販売等について、PARK-PFIで民間活力を導入した点は高く評価する。産学官連携やNPOとの協働など、それぞれの分野のエキスパートと手を携え、各事業をより魅力あるものにされたい。 ・民間活力という言葉が「錦の御旗」ようになってはいないか。民間活力を導入しない場合、その事業はどうなっていたかを考えないと、民間活力の導入が果たして良い結果を生んだのかが分からない。民間活力の導入の検証をどのように行うかは今後の課題である。		

【事業効果自己評価の基準】 活動指標の達成度と数値で捉えにくい事業の意義などに着目して評定

◎:非常に効果的であった(目標値を上回った)、○:相当程度効果があった(目標値を上回っていないが7~8割達成)、△:効果があった(目標値を上回っていないが、事業開始前よりも改善)、×:効果がなかった、効果が得られなかった、—:未着手・未実施

3. 主な事業

連番	90	事業名	公募設置管理制度などによる民間活力を導入した公園の新たな利活用			担当課	公園緑地課	
事業内容	赤塚山公園において、公募設置管理制度(Park-PFI 制度)を活用した民設民営の飲食等の便益施設を設置するとともに、その施設付近において休養施設(特定公園施設)の整備を行い、民間事業者の創意工夫も取り入れた整備、管理により公園利用者に向けたサービスの強化を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
ぎよぎよランド来園者数(万人/年度)	目標値	40	40.0	40	94,026千円			
	実績値	25.8	39.5					
連番	91	事業名	クラウドファンディングなどを活用した官民連携の促進			担当課	企画政策課	
事業内容	特定の事業について、インターネット等を通じて広く支援者、支援企業を募り、事業に必要な資金を集める。取組にあたっては、ふるさと納税制度等を活用し、多くの資金を集め事業を円滑に実施することを目指す。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	△	
クラウドファンディングによる連携事業件数(件/年度)	目標値	1	1	1	—			
	実績値	1	0					
連番	92	事業名	産学官による事業連携の推進			担当課	企画政策課	
事業内容	民間が持つ技術やノウハウを積極的に活用し、公共サービスの維持向上や地域課題の解決のために、官民協議会等による事業連携を推進する。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
新たな官民連携による事業件数(件/年度)	目標値	1	1	1	—			
	実績値	1	1					
連番	93	事業名	行政デジタル化の推進			担当課	情報システム課	
事業内容	単純かつ大量の入力や繰り返す処理等の作業について、RPA 及びAI-OCR 等のAI情報技術を活用して事務作業時間の削減を図るとともに、全庁的に行政手続のオンライン化を推進し、市民サービスの向上を図る。あわせて、感染症対策の3密防止や対面接触低減、業務効率化や働き方改革の推進のため、無線LANを利用したWeb会議や庁内システムへのリモート接続環境の整備充実を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎	
AI等情報技術定義設定登録数(件/年度)	目標値	10	20	25	3,759千円			
	実績値	14	45					
連番	94	事業名	公共施設におけるファシリティマネジメントの推進			担当課	財産管理課	
事業内容	一宮地区の公共施設再編に向けた課題などを整理し、地元との合意形成を図りながら公共施設の適正配置の推進を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	○	
一宮地区公共施設再編整備工程	目標値	基本構想検討	基本構想策定	基本計画策定	7,678千円			
	実績値	基本構想検討	基本構想策定					
連番	95	事業名	ボランティア・NPOマンパワーの養成による地域力の向上			担当課	市民協働国際課	
事業内容	専門講師による講座を開催し、より専門的な知識や技術を学び、ボランティアや市民活動の取組において活発で効果的な活動を展開する人材の育成を図る。							
活動指標		R2	R3	R4	R3 事業費	事業効果自己評価	◎	
講座の開催数(回/年度)	目標値	2	2	2	1,986千円			
	実績値	2	2					

4. 今後の方向性

今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 見直し
総合戦略会議における意見を踏まえた今後の方向性	施策の効果を発揮できていると評価し、継続とする。 ただし、民間活力の導入による効果については、事業ごとに適切な検証手法を検討しながら、当施策を推進する。